

## 会 議 錄

会議の名称	令和7年度 第2回 西東京市下水道審議会
開 催 日 時	令和7年7月24日（木） 午後2時00分から午後4時03分まで
開 催 場 所	保谷東分庁舎地下1階会議室2
出 席 者	<p>【委 員】岩崎会長、山岸副会長、入山委員、樋渡委員、小谷野委員、柴田委員、定留委員、横井委員、加藤委員</p> <p>【事務局】下田都市基盤部長、長塚下水道課長、林課長補佐兼業務係長、日下部工務係長、乙幡施設管理係長</p> <p>【欠席者】0名 【傍聴人】1人 【計画策定支援事業者】1名</p>
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 協議事項</p> <p>西東京市下水道プランの見直しについて（各種施策の実施状況、経営状況の分析・評価、検証等）</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>
会議資料の名 称	資料6 西東京市下水道プランの見直しについて
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><u>&lt;1 開会&gt;</u></p> <p>（事務局より開会のあいさつ）</p> <p>○事務局：西東京市下水道プラン（素案）の計画策定事業者の同席を了承願う。</p>	
<p><u>&lt;2 協議事項&gt;</u></p> <p>(1) 西東京市下水道プランの見直しについて（各種施策の実施状況、経営状況の分析・評価、検証等）</p> <p>○会長：議題1、西東京市下水道プランの見直しについて、事務局より説明願う。</p> <p>○事務局：1 「西東京市下水道プラン中間進捗 各種施策実施状況」を30分程度で説明し、質問を受けた後、休憩を挟み、後半の2 「経営状況の分析・評価、検証」及び3 「今後の下水道経営における懸念要素」を説明したいと考えている。          （資料6に沿って、1 「西東京市下水道プラン中間進捗、各種施策実施状況」について説明）</p> <p>○会長：ここまで事務局からの説明について、何か意見、質問等あるか。</p> <p>○委員：市の下水道施設は「管きょ」のみでポンプ場等は所有していないのか。</p> <p>○事務局：ポンプ場は所有していないが、汚水マンホールポンプを3箇所所有している。</p>	

○委 員：下水道の水洗化率が約97.7%と100%に達していないが、水洗化への切替工事の実施に当たり、市の補助金制度などはあるのか。

○事務局：供用開始から当面の期間は補助制度があったが、開始から既に30年以上経過しており、現在は補助の制度はない。

○委 員：下水道水洗化率が向上しない要因として、浄化槽が家の下に設置されたり、公共柵を設置することができない悪条件による切替工事の困難さや、切替えに係る工事費用が高額なことも考えられる。  
また、公共柵の老朽化が原因による詰まりなども見受けられるので、公共柵の改良に関する助成制度があると良いのではないか。

○委 員：下水道に全ての雨水が流れ込み、その圧力によってマンホール蓋が外れ吹き上がる事故が各地で起きているが、西東京市の状況を知りたい。また、予算不足の中で、どのような工夫をして延命措置を図っているのか。

○事務局：国からの緊急調査の要請により、状況を確認しているところであるが、市内には調査対象である口径2m以上の汚水管はない。  
今後の老朽化に伴う改修費用の対応については、事業を計画的に実施し、費用の平準化を図るとともに、国や都の補助金を積極的に活用し、下水道使用料になるべく負荷がかからないような形で、慎重に進めていきたいと考えている。

○委 員：資料6、6ページに記載のある、「雨天時浸入水」について、東京都が実施した流量調査の結果により判明した浸入水量が多い地区はどのあたりなのか。また、その原因は特定できているのか。

○事務局：雨天時浸入水が多い地区としては、市北部である北町や下保谷の地区が多い。昨年度、送煙調査を実施した結果、誤接が多少あったものの、基本的には管の老朽化による管の隙間からの漏水が確認されているところから、現在進めている下水道ストックマネジメントの老朽化対策とリンクさせ対応していく必要があると考えている。

○委 員：市北部の地域は地形的な要因なのか、又は地下水が多い地域なのか。老朽度合いでいうと、早期の段階で整備されている田無地区の状況はどうなのか。

○事務局：確かに市北部は、地形的に地盤が低くなっている。田無地区については、東京都の調査によると、そこまで多いという結果は出でていない。

○委 員：資料6、11ページの「浸水対策」について、市内の浸水被害の状況はどうなのか。市は浸水対策の事業に係る緊急性度・優先度をどのように捉えているか。

○事務局：基本的に西東京市の雨水を処理するためには、東京都に繋がる雨水幹線の整備や河川の改修が必要だが、現状で整備が完成していない状況のため、ゲリラ豪雨の際などは、浸水箇所が数か所出てしまう。浸水場所については、特定の箇所が溢水している状況であり、その対策として、溢水地域付近に貯留施設を設置し軽減に努めている。

○委 員：資料6、13ページの「石神井川の水質」について、豊石橋（石神井川口）の令和5年度数値が悪化している。悪化している要因は何か。

○事務局：緑橋までは西東京市の管轄になるが、豊石橋については、北区に位置しており、西東京市の排水区を越えた先になるため、関連する資料がない。

○委 員：経常収支比率が100%台なのに、令和5年度で流動比率が200%を超えている理由はなぜか。

○事務局：後半部分に関する事項のため、後半の2「経営状況の分析・評価、検証」及び3「今後の下水道経営における懸念要素」の中で説明させていただく。

○委 員：下水道施設については、調査の中で改修等箇所を発見していくと思うが、今後、調査・点検費用は高騰していくものなのか。若しくは、様々な調査手法が存在するため、費用（コスト）を抑えていくことができるのか。

○事務局：人件費及び改修に係る資材費は、年々上昇傾向にある。調査手法については、AI活用し不具合の箇所を予見するようなシステムが徐々に出てきている。今後、新たな技術が出てくれば、費用対効果を検証したうえで、採用を検討し、経費の削減ができると考えている。

## （2）経営状況の分析・評価・検証について

○会 長：議題1、西東京市下水道プランの見直しについて、事務局より説明願う。

○事務局：（資料6に沿って、2「経営の分析・評価・検証」、3「今後の下水道経営における懸念要素」について説明）

○会 長：事務局からの説明について、何か意見、質問等あるか。

○委 員：企業債とは、西東京市が発行している債券のことなのか。

○事務局：企業債とは借入金を指し、主に国や東京都からの借入になる。

○委 員：建設改良費が抑えられているから、借入金が減り、減価償却費が減り相対的に利益が出ているのではないか。今後、建設改良費が上がり、物価高騰や利率も上がるとその上昇分は、使用料に影響するのではないか。

- 事務局：建設改良費が抑えられているため、利益が上がっているはお見込みのとおりで、今後の見通しについては、経営戦略で検証していく必要がある。
- 委 員：今後の大規模投資はどのくらいになるのか、また、営業外収益が毎年度10億円前後計上されている理由は何か。
- 事務局：投資額については、現在試算中のため今後の審議会で説明する。営業外収益の主な要因は、長期前受金戻入によるところである。併せて、前半の1での委員からの質疑の回答になるが、流動比率の件については、流動資産を分子に流動負債の分母で算出する。上昇の要因としては、分母となる流動負債における企業債の償還が順調に進み、毎年度支出する償還金が減少しているところが大きいと考えている。
- 委 員：長期前受金の耐用年数は工事によって決まっているのか。また、企業債の返済方式はどうなっているのか。
- 事務局：長期前受金の戻入は、対象資産の減価償却と同じ耐用年数で処理を行う。返済方法については、現在は「元金均等の据え置き1年」で返済している。
- 委 員：使用料収入に関連した人口減をどのくらい予測しているか、物価高騰1.7%とあるが経験上もっと高いのではないかと考えるが。
- 事務局：市の人口推計については、令和4年度の調査以降はほぼ横ばいだが、将来的には人口も減少していくと予測している。使用料収入に関連した有収水量は、省エネ機器の普及等により、使用料収入も減少していくと考えている。物価高騰は試算中ではあるが、客観的な算出根拠として、消費者物価指数を用い過去の平均値から予測を立てた。
- 委 員：今後の物価の上昇を考えると人件費などの経費が嵩むと想定する。下水道使用料など収入する財源が限られている中で、支出額を精査して経費を抑える以外に方法はないのではないかと思う。その中で特に、決算書の22ページに記載されている「収益的支出」に関しては、改善・改革していくところではないのかなと思うところである。
- 委 員：令和元年度と令和2年度で使用料収入が他の年度より上がっているのはなぜか。節水機器の普及等とは関係ないのではないか。
- 事務局：民間企業で工事の際に地下水の湧水が発生した。湧水は汚水として処理をするため、臨時的な収入として使用料として計上している。令和3年度以降の数値が、市の通常の収入であると考える。

<3 その他>

○会長：その他について、事務局より説明願います。

○事務局：会議録の内容確認と次回の審議会は10月15日（水）14時からを予定している。

<4 閉会>

○会長：本日の予定の審議は全て終了し、第2回の下水道審議会は以上とします。